

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人ぜんりょう学園 でんき幼稚園

1. 本園の教育目標

- 健康で素直な明るい子ども
- 礼儀正しい態度を身に付ける
- 自主自律の精神を養う

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス感染症と向き合いながらの保育も3年目となり、様々な行事の制限が強えられるが、少しずつ本来の活動に戻せる場面については取り組んでいきたいと考えている。基本的な感染予防対策を継続し、子ども達や教職員の健康維持に努めつつ、創意工夫しながら、子ども達にとってかけがえのない幼稚園の時間を充実させ、健やかに育つことのできる環境作りに努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	取り組み状況・結果
健康・安全面	A	園庭遊具の見直しを行い、老朽化した遊具の撤去や故障個所の修繕、配置の見直しを行ったこと。園庭遊具が減った半面、今まで使いづらかった遊具に取り組みやすくなり、危険個所が減ったことにより、安心して見守ることができるようになった。今後も故障等については定期的に目を配り、安全に配慮していきたい。
研修	A	北九州市私立幼稚園連盟の教師研修大会にて、発表園として研究に取り組んだ。コロナ禍での研究となったため、研究にじっくりと取り組む時間が確保できず、大変苦戦を強いられたが、発表者の頑張りや、助言者の先生、教育研究委員の先生方の支えの中、何とか無事に発表を終えることができた。
保護者との関わり	A	園公式のInstagramを開設した。今年度末の時点で投稿87件、フォロワーが125名となっている。園行事からささやかな話題まで、教諭が細かく投稿してくれており、保護者にも喜んでいただけているものと思う。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
A	今年度も行事の工夫を強いられる場面が多々あり、その都度臨機応変な対応が求められたが、話し合いを行うことにより多くの部分を乗り切ることができ、結果としてほとんどの行事を無事に終えることができた。秋のバス遠足では3年ぶりに全学年での実施が実現し、沢山の子ども達が広場でのびのびと遊ぶ姿は感慨深いものがあった。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保護者との関わり	出欠の確認や預かり保育の利用確認、保護者への緊急連絡などの利便性を向上させ、教職員、保護者ともに負担軽減につながるようICTシステムの導入に取り組みたい。
保育や行事	次年度は子ども達が思い思いの遊びを楽しめるような保育コーナーの充実に努めたい。

6. 学校関係者の評価

今の子ども達を見ていると、物があふれているために自分で遊びを考える事ができない子どもをたまに見かけます。物を与えずぐに体を動かす楽しみ方等、自分で考える力を伸ばしてあげたい。

核家族が年々加速して年配の人が口うるさく言う環境がなくなり、気がつくとお礼が言えない、挨拶ができない、返事ができない、そんなお子さんも増えてきている。

「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」は生きていくにはホントに必要なこと。

恥ずかしいから挨拶をしないのをいいことにしないで、挨拶をしない方が恥ずかしいことと、今のうちから認識させてほしい。社会に出てすぐにできるわけではないので幼稚園の時から身に付けさせて欲しい。

今後の子育てサークルのありかた…少子化で子ども同士のやり取りを学ぶ機会が、幼児期は大人があえて作らないと経験できない家庭も増えている。そんな家庭では積極的に子育てサークルなど幼稚園入園前から同年齢の子どもとふれあう楽しさと相手への思いやりを教える場を作る必要性を皆さんに知ってもらいたい。

学校関係者評価委員 _____ 印

学校関係者評価委員 _____ 印

学校関係者評価委員 _____ 印

委員会実施日

令和5年3月31日